

平成 30（2018）年度
大阪大学大学院工学研究科
博士前期課程 推薦入学特別選抜
学生募集要項
＜平成 30（2018）年 4 月入学＞

平成 29 年 1 月

目 次

【工学研究科アドミッション・ポリシー】

1. 募集人員	1
2. 出願専攻・コースについて	2
3. 出願資格	2
4. 予備審査	4
5. 出願手続	5
6. 検定料	5
7. 出願書類	6
8. 入学者選抜	8
9. 合格者発表	9
10. 入学料及び授業料・入学手続	9
11. 試験内容、研究内容等に関する問合せ先（各専攻連絡先）	10
12. 個人情報の取扱いについて	11
13. 注意事項	11
14. 講座・領域等一覧表	12

【工学研究科アドミッション・ポリシー】

大阪大学のアドミッション・ポリシーのもとに、工学研究科では、人類社会の持続的発展のために独創的な科学技術の進歩に貢献し、高い倫理観を持ってその恩恵を国際社会に還元したいという強い意欲と向上心に溢れ、次のような資質を持つ人を求めています。

- (1) 専攻分野における基礎的・専門的な知識並びに技能
- (2) 主体的に問題に取り組み、課題解決のために論理的な考察を行う能力
- (3) 自らの考えを的確に伝えるための表現力や討論する能力
- (4) グローバルなコミュニケーションに必要な英語力

博士前期課程では、このような人材を求めるために、筆記試験と口頭試問から成る一般の入学試験を実施しています。また、研究能力に特に秀でた学生を国内外から広く受け入れ、優れた研究者・技術者を育成するために、博士前期課程推薦入学特別選抜制度による入学試験、留学生を対象とした外国人留学生特別選抜制度による入学試験、4つの英語特別コースへの入学試験を設けています。

博士後期課程では、上記の資質に加え、以下に示す能力を有する人材を求め、筆記試験と口頭試問等から成る一般の入学試験を実施します。

- (1) 博士論文研究分野に関する先端的知識と技能
- (2) 自ら実施した研究を整理して論文を作成する能力、及びその内容・成果を発表し、それに関する討論を行う能力

また、研究能力に特に秀でた学生を国外から受け入れるために、外国人留学生特別選抜制度、4つの英語特別コースへの入学試験を設けています。

○推薦入学特別選抜の趣旨

大阪大学大学院工学研究科では、研究能力に秀でた学生を受け入れ、優れた研究者・技術者を育成するため、本研究科博士前期課程に推薦入学特別選抜制度を設けています。

1. 募集人員

専攻	コース	募集人員
生命先端工学専攻	物質生命工学コース	若干名
	生物工学コース	
精密科学・応用物理学専攻	精密科学コース	若干名
	応用物理学コース	10名程度
知能・機能創成工学専攻		10名程度
機械工学専攻		若干名
マテリアル生産科学専攻	マテリアル科学コース	若干名
	生産科学コース	
電気電子情報工学専攻	電気工学コース	若干名
	情報通信工学コース	
	電子工学コース	
環境・エネルギー工学専攻	環境工学コース	30名程度
	エネルギー量子工学コース	
地球総合工学専攻	船舶海洋工学コース	若干名
	社会基盤工学コース	10名程度
ビジネスエンジニアリング専攻		若干名

(注1) 生命先端工学専攻物質生命工学コースは、本学工学部在籍者は出願できません。また、生命先端工学専攻を志望する場合には、出願前に指導を希望する研究室の担当教員と入学後の研究テーマについて相談してください。詳細は、次の各ホームページを参照してください。

物質生命工学コース URL : <http://www.mls.eng.osaka-u.ac.jp>

生物工学コース URL : <http://www.bio.eng.osaka-u.ac.jp>

(注2) 応用化学専攻は、推薦入学特別選抜を行いません。

(注3) 精密科学・応用物理学専攻応用物理学コースは、本学工学部応用自然科学科応用物理学科目応用物理学コース在籍者は出願できません。また、出願前に指導を希望する研究室の担当教員と入学後の研究テーマについて相談してください。詳細は、次のホームページを参照してください。

応用物理学コース URL : <http://www.ap.eng.osaka-u.ac.jp/graduate/index.html>

(注4) マテリアル生産科学専攻を志願する場合には、予備審査申請前に指導を希望する研究室の担当教員と入学後の研究テーマについて相談してください。詳細は、次のホームページを参照してください。

マテリアル科学コース URL : <http://www.mat.eng.osaka-u.ac.jp/index.html>

生産科学コース URL : <http://www.mapse.eng.osaka-u.ac.jp>

(注 5) 電気電子情報工学専攻を志望する場合には、予備審査申請前に指導を希望する研究室の担当教員と入学後の研究テーマについて相談してください。また、同専攻合格者に対し、上述 3 つのコースに跨る横断型の「総合コース」を提供しています。同コースは、広い視野及び総合的能力が要求される分野で活躍する人材の育成を目的として提供していますので、履修を希望する場合は、志望理由書（様式 3）の該当欄に「総合コース履修希望」と記入してください。

(注 6) 地球総合工学専攻は、船舶海洋工学コース及び社会基盤工学コースでは推薦入学特別選抜を行いますが、建築工学コースでは推薦入学特別選抜を行いません。なお、地球総合工学専攻船舶海洋工学コースは、本学工学部地球総合工学科船舶海洋工学科船舶海洋工学コース在籍者は出願できません。

2. 出願専攻・コースについて

(1) 出願は 1 専攻（コース単位で募集を行う専攻は 1 コース）に限ります。

なお、生命先端工学専攻、精密科学・応用物理学専攻、マテリアル生産科学専攻、電気電子情報工学専攻、環境・エネルギー工学専攻及び地球総合工学専攻は、コース単位で募集を行うので、出願書類の志望専攻・コース名欄に**専攻・コース名**を記入してください。

〔コース単位で選抜を行う専攻〕	〔専攻単位で選抜を行う専攻〕
<ul style="list-style-type: none">・生命先端工学専攻・精密科学・応用物理学専攻・マテリアル生産科学専攻・電気電子情報工学専攻・環境・エネルギー工学専攻・地球総合工学専攻	<ul style="list-style-type: none">・知能・機能創成工学専攻・機械工学専攻・ビジネスエンジニアリング専攻

(2) 電気電子情報工学専攻の志望者で「総合コース」の履修を希望する場合には、志望理由書（様式 3）の該当欄に「総合コース履修希望」と記入してください。

3. 出願資格

【日本人・在留資格「永住者」】

日本国籍を有する者又は在留資格が「永住者」である者で、次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 我が国の大学を卒業した者及び平成 30 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
- (2) 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び平成 30 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 30 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 30 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成 30 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び平成 30 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 30 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年 2 月 7 日文部省告示第 5 号）

【外国人】

※本研究科の専攻長、受入予定指導教員の下承が必要です。

※入学時に在留資格が「留学」であることを条件とします。

日本国内に在住する日本国籍を有しない者及び在留資格が「永住者」ではない者で、次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 我が国の大学を卒業した者及び平成 30 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
- (2) 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び平成 30 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (3) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 30 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

(注 1) 在留資格が「永住者」又は「留学」以外であり、入学時に在留資格を「留学」に変更しない者が出願を希望する場合は本研究科教務課入試係（以下「入試係」という。）へ問い合わせてください。

(注 2) 【日本人・在留資格「永住者」】の出願資格 (5)、(7)、(8) 及び【外国人】の出願資格 (3) については、工学研究科ホームページの「大学院入試情報」を参照してください。なお、【外国人】の出願資格 (3) は【日本人・在留資格「永住者」】の出願資格 (7) と同じ資格です。

工学研究科ホームページ URL : http://www.eng.osaka-u.ac.jp/ja/entrance/g_admissions.html

4. 予備審査

志望する専攻・コースによっては事前に予備審査を受ける必要があり、その合格者のみが出願できます。

(1) 予備審査を行う専攻・コース

次に示す専攻・コースでは、予備審査を行います。

生命先端工学専攻生物工学コース、機械工学専攻^{*}、マテリアル生産科学専攻、電気電子情報工学専攻、環境・エネルギー工学専攻、地球総合工学専攻船舶海洋工学コース、ビジネスエンジニアリング専攻

※機械工学専攻は、本学工学部応用理工学科機械工学科目機械工学コース在籍者以外の者に予備審査を実施します。

予備審査を行わない専攻・コース

生命先端工学専攻物質生命工学コース、精密科学・応用物理学専攻、知能・機能創成工学専攻、地球総合工学専攻社会基盤工学コース

(2) 予備審査申請

予備審査を行う専攻・コースを志願する者は、受付期間内に次の書類を持参又は必着するように郵送してください。

① 予備審査申請書類： 「7. 出願書類」の1～10の書類

② 受付期間： 平成29年5月8日（月）～12日（金）

【持参の場合】

受付時間： 9時30分～15時（ただし、11時30分～12時30分は除く。）

受付場所： 工学研究科教務課入試係（U1M棟<管理棟>1階）

【郵送の場合】

宛先： 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-1

大阪大学工学研究科教務課入試係

（必ず「書留」郵便とし、封筒の表に「予備審査申請」と朱書き）

上記受付期間内の郵送による到着分を受け付けます。

ただし、期限後に到着した場合でも平成29年5月10日（水）以前の日本国内発信局消印のある「書留」郵便に限り受け付けます。また、日本国外から発送する場合は、あらかじめ入試係へ問い合わせてください。

(3) 予備審査の方法

推薦入学特別選抜履歴書及び推薦書等をもとに学部課程において履修した専門分野の学力を勘案して、研究構想力と基礎的学力の判定を行います。

（注）予備審査の結果は、平成29年5月31日（水）までにお知らせしますので、届かない場合は、出願期日に間に合うように入試係へ問い合わせてください。問合せがない場合には、受理したものと取り扱います。

5. 出願手続

予備審査を行わない専攻・コースの志願者又は予備審査を行う専攻・コースの志願者で予備審査を合格した者が出願する場合は、次に示す要領に従って出願受付期間内に出願手続を行ってください。

① 提出書類： 「7. 出願書類」の2～18の書類

(ただし、予備審査に合格した者は、「7. 出願書類」の11～18の書類)

② 出願受付期間： 平成29年6月5日(月)～平成29年6月7日(水)

【持参の場合】

受付時間： 9時30分～15時(ただし、11時30分～12時30分は除く。)

受付場所： 工学研究科教務課入試係(U1M棟<管理棟>1階)

【郵送の場合】

宛先： 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-1

大阪大学工学研究科教務課入試係

(必ず「書留」郵便とし、封筒の表に「博士前期課程推薦入学願書」と朱書き)

上記出願受付期間内の郵送による到着分を受け付けます。

ただし、期限後に到着した場合でも平成29年6月5日(月)以前の日本国内発信局消印のある「書留」郵便に限り受け付けます。また、日本国外から発送する場合は、あらかじめ入試係へ問い合わせてください。

6. 検定料

出願前までに30,000円を次に示す要領に従って支払ってください。

(1) 「検定料振込依頼書」に必要事項を記入し、ゆうちょ銀行以外の金融機関の窓口で振込(電信扱)にて支払ってください。なお、振込手数料は各自で負担してください。

ただし、日本政府奨学金留学生(文部科学省国費外国人留学生。以下「国費外国人留学生」という。)については、検定料の支払いは不要ですが、出願時に国費外国人留学生証明書を提出してください。(本学工学部在籍の国費外国人留学生については、国費外国人留学生証明書の提出も不要です。)

(2) 振込後、検定料納入証明書(取扱店収納印のないものは無効)を切り取り、願書の指定箇所に貼付してください。また、振込金(兼手数料)受領書は各自で保管してください。

(注) 納入済の検定料は返還しません。ただし、次に該当する場合は、検定料を返還します。返還請求については入試係へ申し出てください。

- ・ 出願したが出願資格がなかった場合
- ・ 出願書類受付期間終了後に書類が到着し、受理されなかった場合
- ・ 書類に不備があり受理されなかった場合
- ・ 検定料を払い込んだが出願しなかった場合
- ・ 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

7. 出願書類

書 類	内 容
1. 予備審査申請書（様式 1）	所定の用紙に所要事項を記入してください。
2. 履歴書（様式 2）	所定の用紙に所要事項を記入してください。
3. 志望理由書（様式 3）	所定の用紙に所要事項を記入してください。
4. 成績証明書	最終学歴の成績証明書又はこれに準ずるもので、教育機関の長が作成したものを提出してください。また、高等専門学校出身者は <u>本科・専攻科両方</u> の成績証明書を提出してください。 大学 3 年次編入学した者は、編入前に在籍した教育機関の成績証明書も併せて提出してください。ただし、本学工学部に 3 年次編入学し、現在在籍している場合は本学の成績証明書のみ提出してください。 ※偽装防止用紙を用いた証明書を提出する場合は厳封不要
5. 推薦書又は自己推薦書 （様式 4 又は様式 5）	推薦書に、所属の長等、出願者を熟知している者が記入し提出してください（受入側教員の推薦は認められません）。 なお、推薦書が得られない場合にあつては、自己推薦書に自己を推薦する理由を書いて提出してください。
6. 研究希望調書（様式 6）	所定の用紙（A4 版 2 枚）に所要事項を記入してください。
7. 希望講座・領域等調書 （様式 7）	「14.講座・領域等一覧表」（p.12～）から、希望講座等を選択して所定の用紙に記入してください。
8. 連絡受信先シール	所定の用紙に所要事項を記入してください。 ※本学工学部在籍者は提出不要
9. 出願承諾書（様式 8）	外国人留学生として入学予定の者は受入予定指導教員及び専攻長に記入・押印してもらってください。 ※日本人又は在留資格「永住者」は提出不要
10. 在留カード（両面）の写し	日本国籍を有しない外国人志願者は、在留資格、在留期間及び現住所が記載された在留カードの両面を A4 サイズの用紙にコピーして提出してください。 ※日本人は提出不要
11. 入学願書	所定の用紙に所要事項を記入してください。
12. 受験票・写真票	所定の用紙に写真（3 か月以内に撮影）を貼付し、所要事項を記入してください。
13. 卒業（見込）証明書	出身大学長又は学部長の発行した卒業（見込）証明書。
14. 学士の学位授与（予定） 証明書	独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者のみ提出してください。なお、大学改革支援・学位授与機構に学士の学位を申請する予定の者は、在籍する教育機関の長の学位授与申請予定証明書を提出してください。 ※出願資格（2）以外の者は提出不要
15. 国費外国人留学生証明書	出願時に、本学工学部以外の日本国内の大学・高等専門学校において国費外国人留学生の者は、在籍大学・高等専門学校発行の、国費外国人留学生であることを証明する書類を提出してください。 ※国費外国人留学生ではない者及び本学工学部在籍国費外国人留学生は提出不要
16. 検定料納入証明書	金融機関窓口で検定料を振り込み、取扱店収納印を受けたうえで、入学願書の指定箇所に貼付してください。 ※国費外国人留学生として入学する予定の者は振込及び提出不要
17. 受験票送付用封筒	所定の封筒に受験者本人の郵便番号、住所及び氏名を明記し、92 円分の切手を貼付してください。（封筒に印字されている「様」は書き換えないでください。） ※日本国外に居住している者は提出不要

18. 英語能力証明書 (TOEIC 公式認定証、TOEFL 受験者用控えスコア票又はIELTS 成績証明書)	表 1 に示す各専攻・コースが指定する英語能力証明書(TOEIC®Listening & Reading Test 公式認定証、TOEFL 受験者用控えスコア票<Test Taker Score Report 又は Examinee Score Report>又は IELTS 成績証明書のいずれか 1 つ) の <u>原本とその写し (A4)</u> を提出してください。原本と写しを照合後、原本は返却します。原本のみを提出した場合は返却しません。 いずれの試験とも平成 27 年 7 月 1 日から平成 29 年 4 月 30 日までに受験した公開テストのみを有効としますので、出願期間までに必ず間に合うよう計画的に受験してください。
---	---

(注 1) 出願書類に不備がある場合は、受理できません。

(注 2) 出願手続後は、記載事項の変更を認めません。

(注 3) 入学願書等に記載する氏名と証明書に記載された氏名が改姓名等により異なる場合は、改姓名の事実を証明できる書類(戸籍抄本等) を添付してください。

(注 4) 「提出不要」と明記しているものを除き、該当する書類は全て提出する必要があります。

(注 5) 「返却します」と明記しているものを除き、提出された書類は一切返却しません。

【表 1. 英語能力証明書、専攻・コース別指定】各専攻・コースにおいて✓を付した証明書を受理する。

専攻	コース	TOEIC	TOEFL※1	IELTS
生命先端工学専攻	物質生命工学コース	✓	✓	
	生物学コース	✓	✓	
精密科学・応用物理学専攻	精密科学コース	英語スコアの提出は不要です。		
	応用物理学コース※2	✓	✓	✓
知能・機能創成工学専攻		✓	✓	✓
機械工学専攻		✓	✓	
マテリアル生産科学専攻	マテリアル科学コース	✓	✓	
	生産科学コース	✓	✓	
電気電子情報工学専攻	電気工学コース	✓	✓	
	情報通信工学コース	✓	✓	
	電子工学コース	✓	✓	
環境・エネルギー工学専攻	環境工学コース	✓	✓	✓
	エネルギー量子工学コース	✓	✓	✓
地球総合工学専攻	船舶海洋工学コース	✓	✓	✓
	社会基盤工学コース	✓	✓	
ビジネスエンジニアリング専攻		✓	✓	✓

【注意事項】

以下の英語試験の成績証明書は受理しません。

TOEIC : TOEIC-IP (団体特別受験制度で受験したもの)、TOEIC® Speaking & Writing Test、TOEIC® Speaking Test、TOEIC Bridge® Test

TOEFL : TOEFL-ITP (団体特別受験制度で受験したもの)

IELTS : General Training Module

※1 TOEFL は公式スコア票 (Official Score Report) ではなく、受験者用控えスコア票 (Test Taker Score Report 又は Examinee Score Report) を提出してください。ただし、受験者用控えスコア票が発行されない国・地域で TOEFL を受験し、そのスコアを利用する場合は、出願期間の 6 週間前までに入試係へ問い合わせてください。

※2 精密科学・応用物理学専攻応用物理学コースの志願者で、最終学歴が英語を主たる言語とする大学・教育施設等である者については、英語能力証明書の提出が不要となる場合があります。該当すると思われる志願者は、必ず出願前に入試係へ問い合わせてください。

8. 入学者選抜

入学者選抜は、次に示す学力試験の成績及び出願書類の選考結果を総合して行います。

専攻	コース	実施日	試験時間	学力試験等
生命先端工学	物質生命工学	7月5日(水)	11:00～12:00	小論文
			13:30～15:00	面接及び口頭試問
	生物工学	7月5日(水)	10:00～12:00	小論文
			14:00～15:00	面接及び口頭試問
精密科学・応用物理学	精密科学	7月5日(水)	10:00～12:00	外国語(英語)
			13:30～	口頭試問
	応用物理学	7月5日(水)	10:00～11:00	数学
			11:15～12:15	論述問題
			15:00～	口頭試問
知能・機能創成工学		7月5日(水)	9:00～17:00	口頭試問
機械工学		7月5日(水)	10:30～	口頭試問
マテリアル生産科学	マテリアル科学	7月5日(水)	10:00～	口頭試問
	生産科学	7月5日(水)	13:00～	口頭試問
電気電子情報工学	電気工学	7月5日(水)	11:00～12:00	筆記試験
			13:00～	口頭試問
	情報通信工学	7月5日(水)	13:00～	口頭試問
	電子工学	7月5日(水)		
環境・エネルギー工学	環境工学	7月5日(水)	13:00～	口頭試問
	エネルギー量子工学	7月5日(水)	13:00～	口頭試問
地球総合工学	船舶海洋工学	7月5日(水)	13:00～	口頭試問
	社会基盤工学	7月5日(水)	10:00～11:30	小論文
			14:30～	口頭試問
ビジネスエンジニアリング		7月5日(水)	12:30～	口頭試問

(注1) 機械工学専攻の志願者には、筆記試験を課す場合があります。

(注2) 受験票は、出願手続後受験票送付用封筒にて郵送します。なお、日本国外に居住している者へは、志望専攻・コースから配布します。平成29年6月26日(月)までに届かない場合は、入試係へ問い合わせてください。

また、試験場所等の詳細な注意事項については、平成29年6月28日(水)午後から工学研究科ホームページ(http://www.eng.osaka-u.ac.jp/ja/entrance/g_admissions.html)の大学院入試情報に掲載しますので、各自確認してください。

9. 合格者発表

合格者発表は、以下の日時に工学研究科ホームページ（http://www.eng.osaka-u.ac.jp/ja/entrance/g_admissions.html）の大学院入試情報において行います。また、合格者には「合格通知書」を郵送します。（不合格者への通知は行いません。）

なお、電話又はメールによる合否の問合せには一切応じません。

合格者発表日時： 平成 29 年 7 月 14 日（金） 14 時

10. 入学料及び授業料・入学手続

(1) 入学料： 282,000 円

(2) 授業料： 年額 535,800 円〔半期 267,900 円〕

(3) 入学手続期間は、平成 30 年 3 月中旬を予定しています。なお、入学手続書類は、平成 30 年 2 月中旬以降に発送予定です。

(注 1) 入学料及び授業料の納入時期等の詳細は、入学手続書類案内の際にお知らせします。

(注 2) 国費外国人留学生として入学（在学）する場合は、入学料及び授業料の支払いは不要です。

(注 3) 入学料又は授業料の金額は改定する場合があります。

また、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

11. 試験内容、研究内容等に関する問合せ先（各専攻連絡先）

専攻	コース	電話番号	E-mail/URL
生命先端工学	物質生命工学	06-6879-7937	E-mail: office@mls.eng.osaka-u.ac.jp http://www.mls.eng.osaka-u.ac.jp/
	生物工学	06-6879-7449	E-mail: jimubio@bio.eng.osaka-u.ac.jp http://www.bio.eng.osaka-u.ac.jp/
精密科学・ 応用物理学	精密科学	06-6879-7300	E-mail: prec-office@prec.eng.osaka-u.ac.jp http://www.prec.eng.osaka-u.ac.jp/
	応用物理学	06-6879-7861	E-mail: www-apadm@ap.eng.osaka-u.ac.jp http://www.ap.eng.osaka-u.ac.jp/graduate/
知能・機能創成工学		06-6879-7540	E-mail: office@ams.eng.osaka-u.ac.jp http://www.ams.eng.osaka-u.ac.jp/
機械工学		06-6879-4486	E-mail: mech-jimushitsu@mech.eng.osaka-u.ac.jp http://www.mech.eng.osaka-u.ac.jp/
マテリアル生産科学	マテリアル科学	06-6879-7508	E-mail: mat-jim@mat.eng.osaka-u.ac.jp http://www.mat.eng.osaka-u.ac.jp/
	生産科学	06-6879-7569	E-mail: pseoffa@mapse.eng.osaka-u.ac.jp http://www.mapse.eng.osaka-u.ac.jp/
電気電子情報工学	電気工学	06-6879-7719	E-mail: in-nyuushi@eei.eng.osaka-u.ac.jp http://www.eei.eng.osaka-u.ac.jp/
	情報通信工学		
	電子工学		
環境・エネルギー工学	環境工学	06-6879-7682	E-mail: env_administrator@see.eng.osaka-u.ac.jp http://www.see.eng.osaka-u.ac.jp/
	エネルギー量子工学		E-mail: erg_administrator@see.eng.osaka-u.ac.jp http://www.see.eng.osaka-u.ac.jp/
地球総合工学	船舶海洋工学	06-6879-7595	E-mail: naoe-jimu@naoe.eng.osaka-u.ac.jp http://www.naoe.eng.osaka-u.ac.jp/
	社会基盤工学	06-6879-7628	E-mail: civil-jimu@civil.eng.osaka-u.ac.jp http://www.civil.eng.osaka-u.ac.jp/
ビジネスエンジニアリング		06-6879-4075	E-mail: be_admission@mit.eng.osaka-u.ac.jp http://www.mit.eng.osaka-u.ac.jp/

12. 個人情報の取扱いについて

- (1) 出願時に提出された氏名、住所、その他の個人情報については、「入学者選抜（出願処理、選抜試験実施）」、「合格者発表」、「入学手続」及び入学後に履修可能な教育プログラム等の業務を行うために利用します。また、入学者については、「教務関係（学籍管理、修学指導）」、「学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）」及び「授業料収納に関する業務」を行うことにも利用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試結果の集計・分析及び入学者選抜方法の調査・研究のために利用します。

13. 注意事項

- (1) 入学願書の履歴、入学資格につき虚偽の記載をした場合は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- (2) 障がい等のある者で、受験及び修学に際して特別な配慮を必要とする者は、原則として平成 29 年 5 月 9 日（火）までに入試係へ問い合わせてください。
- (3) 試験当日、自動車・バイクでの入構はできません。電車・バスを利用してください。
- (4) 予備審査又は出願に際して不明な点があれば、入試係へ問い合わせてください。

14. 講座・領域等一覧表

【生命先端工学専攻】

物質生命工学コース

- ・生物化学工学領域
 - ・ケミカルバイオロジー領域
 - ・フォトリック情報工学領域
 - ・有機電子材料科学領域
 - ・生命機能化学領域
 - ・応用表面科学領域
 - ・超分子認識化学領域
 - ・先端物性工学領域
- <協力講座>
- ・レーザー分光領域（産学連携本部・イノベーション部）

生物工学コース

- ・生物資源工学領域
 - ・細胞動態学領域
 - ・生物プロセスシステム工学領域
 - ・ゲノム機能工学領域
 - ・細胞工学領域
 - ・生命環境システム工学領域
 - ・合成生物工学領域
- <協力講座>
- ・応用微生物学講座（生物工学国際交流センター）
 - ・分子微生物学講座（生物工学国際交流センター）
 - ・生体分子機能科学研究分野（産業科学研究所）

【精密科学・応用物理学専攻】

精密科学コース

- <精密科学講座>
- ・機能材料領域
 - ・原子制御プロセス領域
 - ・先端機器システム領域
 - ・超精密加工領域
 - ・量子計測領域
 - ・計算物理領域
- <協力講座>
- ・超精密科学研究センター

応用物理学コース

- <応用物理学講座>
- ・ナノ物性理論領域
 - ・ナノフォトニクス領域
 - ・ナノ・バイオフィットニクス領域
 - ・ナノ物性工学領域
 - ・ナノバイオ工学領域
 - ・ナノエレクトロニクス領域
 - ・ナノマテリアル領域
 - ・ナノスペクトロスコーピー領域
- <協力講座>
- ・先進電子デバイス研究分野（産業科学研究所）

【知能・機能創成工学専攻】

<先導的融合工学講座>

- ・創発ロボティクス領域
- ・運動知能領域
- ・高機能構造材料創成領域
- ・知能アクチュエータ・センサデバイス創成領域
- ・環境調和エレクトロニクス実装領域（産業科学研究所）
- ・プリンティッド・エレクトロニクス領域（産業科学研究所）
- ・マイクロダイナミクス領域
- ・非線形離散動力学領域
- ・熱・電磁流体解析領域
- ・機能材料創成領域
- ・共生メディア学領域
- ・計算材料設計・創成領域

【機械工学専攻】

<複合メカニクス講座>

- ・固体力学領域
- ・機械動力学領域
- ・複合流動工学領域
- ・エネルギー反応輸送学領域
- ・非線形非平衡流体力学領域

<マイクロ機械科学講座>

- ・マイクロマテリアル工学領域
- ・マルチスケール輸送現象領域
- ・ナノ加工計測学領域
- ・燃焼工学領域
- ・流体物理学領域
- ・マイクロ熱工学領域

<知能機械学講座>

- ・生命機械融合ウェットロボティクス領域
- ・宇宙機ダイナミクス制御領域
- ・動的システム制御学領域
- ・ハイパーヒューマン工学領域

<統合デザイン工学講座>

- ・設計工学領域
- ・精密加工学領域
- ・サステナブルシステムデザイン学領域

<協力講座>

- ・レーザー接合機構学分野（接合科学研究所）
- ・複合化機構学分野（接合科学研究所）

<協力領域>

- ・ナノ構造工学領域（アトミックデザイン研究センター）
- ・フィールドロボティクス部門（コマツみらい建機協働研究所）

【マテリアル生産科学専攻】

マテリアル科学コース

<材料物性学講座>

- ・量子材料物性学領域
- ・材料極微プロセス工学領域
- ・表面物性学領域
- ・材料評価学領域

<材料エネルギー理工学講座>

- ・材料理化学領域
- ・材料エネルギー工学領域
- ・反応プロセス工学領域

<構造機能制御学講座>

- ・材料精製工学領域
- ・結晶塑性工学領域
- ・結晶成長工学領域

<材料機能化プロセス工学講座>

- ・環境材料学領域
- ・生体材料学領域
- ・材質形態制御学領域

<協力講座>

- ・プラズマ物性設計分野（アトミックデザイン研究センター）
- ・コンポジット材料設計分野（アトミックデザイン研究センター）
- ・ナノ構造・機能評価研究分野（産業科学研究所）
- ・先端ハード材料研究分野（産業科学研究所）
- ・物質・生物応用研究分野（超高压電子顕微鏡センター）
- ・接合界面機構学分野（接合科学研究所）
- ・エネルギー変換機構学分野（接合科学研究所）

<協力領域>

- ・スマートコーティングプロセス学分野（接合科学研究所）

生産科学コース

<生産プロセス講座>

- ・機能化プロセス工学領域
- ・ノベル・ジョイニング領域
- ・複合化プロセス工学領域
- ・加工物理学領域

<構造化デザイン講座>

- ・プロセスメカニクス領域
- ・構造化評価学領域
- ・信頼性評価学領域

<システムインテグレーション講座>

- ・生産システムインテグレーション領域
- ・電子システムインテグレーション領域
- ・システムデザイン領域

<協力講座>

- ・溶接・接合機能設計講座（接合科学研究所）
- ・プラズマ工学講座（接合科学研究所）
- ・生産・加工プロセス解析講座（接合科学研究所）
- ・接合デザイン講座（接合科学研究所）
- ・エネルギー形態制御講座（アトミックデザイン研究センター）

<協力領域>

- ・信頼性評価・予測システム学分野（接合科学研究所附属スマートプロセス研究センター）

【電気電子情報工学専攻】

電気工学コース

<システム・制御工学講座>

- ・パワーエレクトロニクス領域
- ・インテリジェントシステム領域
- ・パワーシステム領域
- ・システムアナリシス領域

<先進電磁エネルギー工学講座>

- ・高強度レーザー工学領域
- ・プラズマ生成制御工学領域
- ・高エネルギー密度工学領域
- ・先進ビームシステム工学領域

<協力講座>

- ・光・量子システム研究領域（レーザーエネルギー学研究センター）
- ・放射流体プラズマ研究領域（レーザーエネルギー学研究センター）
- ・非線形光学応用研究領域（レーザーエネルギー学研究センター）

情報通信工学コース

<通信ネットワーク工学講座>

- ・ロバストネットワーク工学領域
- ・フォトニックネットワーク工学領域

<通信システム工学講座>

- ・メディア統合コミュニケーション工学領域
- ・サイバーセキュリティ工学領域
- ・ワイヤレスシステム工学領域

<光電波工学講座>

- ・極限光通信工学領域
- ・環境電磁工学領域

<協力講座>

- ・知能推論研究分野（産業科学研究所第1研究部門：情報・量子科学系）
- ・知識科学研究分野（産業科学研究所第1研究部門：情報・量子科学系）

電子工学コース

<創製エレクトロニクス材料講座>

- ・機能性材料創製領域
- ・ナノ材料・計測領域

<エレクトロニクスデバイス講座>

- ・分子機能材料デバイス領域
- ・量子光電子デバイス領域
- ・先進電子デバイス基礎領域

<集積エレクトロニクス講座>

- ・集積量子デバイス領域
- ・生体システム・デバイス領域

<協力講座>

- ・量子システム創成研究分野（産業科学研究所）
- ・基盤技術研究分野（超高压電子顕微鏡センター）
- ・テラヘルツフォトニクス研究領域（レーザーエネルギー学研究センター）
- ・超高強度光学研究領域（レーザーエネルギー学研究センター）
- ・光・量子放射制御研究領域（レーザーエネルギー学研究センター）

【環境・エネルギー工学専攻】

環境工学コース

<環境システム学講座>

- ・環境マネジメント学領域
- ・共生環境評価領域

<共生環境デザイン学講座>

- ・都市環境デザイン学領域
- ・環境設計情報学領域

<環境資源・材料学講座>

- ・生物圏環境工学領域
- ・環境材料学領域（接合科学研究所）
- ・スマートグリーンプロセス学領域（接合科学研究所）

<共生エネルギーシステム学講座>

- ・地球循環共生工学領域
- ・都市エネルギーシステム領域

エネルギー量子工学コース

<環境資源・材料学講座>

- ・量子線生体材料工学領域
- ・量子ビーム材料プロセス工学領域（産業科学研究所）
- ・放射線物性工学領域（産業科学研究所）

<共生エネルギーシステム学講座>

- ・環境エネルギー材料工学領域

<量子エネルギー工学講座>

- ・原子力社会工学領域
- ・量子ビーム応用工学領域
- ・量子システム化学工学領域
- ・システム量子工学領域
- ・量子エネルギー基礎工学領域
- ・量子反応工学領域
- ・レーザー応用工学領域（レーザーエネルギー学研究センター）
- ・レーザーエネルギー工学領域（レーザーエネルギー学研究センター）

【地球総合工学専攻】

船舶海洋工学コース

<船舶工学講座>

- ・船舶設計学領域
- ・船舶構造強度学領域
- ・船型デザイン領域

<海洋システム工学講座>

- ・海洋材料工学領域
- ・海洋空間開発工学領域
- ・海事機械システム工学領域

<協力講座>

- ・数理解析学分野（接合科学研究所）

社会基盤工学コース

<社会基盤工学講座>

- ・社会基盤設計学領域
- ・構造工学領域
- ・地盤工学領域

<社会システム学講座>

- ・国土開発保全工学領域
- ・みず工学領域
- ・交通・地域計画学領域
- ・社会基盤マネジメント学領域

<協力領域>

- ・接合設計学分野（接合科学研究所）

【ビジネスエンジニアリング専攻】

- ・テクノロジーデザイン講座
- ・技術知マネジメント講座

課程教育リーディングプログラムについて

大阪大学には、博士課程教育リーディングプログラムと呼ばれる新しい大学院プログラムがあります。このプログラムは、研究科における従来の教育・研究活動に加えて、広く社会とのかかわりのなかで展開するコースワークによって、俯瞰力と、社会に生きる独創性を身につけることにより、国際的に、広く社会で活躍するリーダーとなる人材育成を目指しています。

工学研究科博士前期課程の合格者は、下記の博士課程教育リーディングプログラムに応募することができます。詳細は各プログラムのホームページを参照してください。

プログラム名	対象となる研究科・専攻等	HP URL
インタラクティブ物質科学・カデットプログラム	基礎工学研究科（物質創成専攻、システム創成専攻）、理学研究科（物理学専攻、化学専攻、高分子科学専攻）、工学研究科（マテリアル生産科学専攻、応用化学専攻、精密科学・応用物理学専攻、生命先端工学専攻）	http://www.msc.osaka-u.ac.jp
未来共生イノベーター博士課程プログラム	文学研究科（文化形態論専攻、文化表現論専攻）、人間科学研究科、法学研究科、経済学研究科、医学系研究科（医学専攻、保健学専攻）、工学研究科（地球総合工学専攻、ビジネスエンジニアリング専攻）、言語文化研究科、国際公共政策研究科	http://www.respect.osaka-u.ac.jp

《各種問合せ・請求先》

大阪大学工学研究科教務課入試係

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-1

Tel : (06) 6879-7226 (ダイヤルイン)

E-mail : iso-staff@eng.osaka-u.ac.jp

<http://www.eng.osaka-u.ac.jp/>